

【壊死性潰瘍性歯周炎における学会の見解】

限局型：30%未満の歯（部位）に病変が存在する場合

広汎型：30%以上の歯（部位）に病変が存在する場合

AAPによる1999年版のClassificationならびに Clinical Periodontology and Implant Dentistry 第6版にも同様の記載があります。それ以上の出典は不明です。一般的な歯肉炎、歯周炎には適用されますが、NUG/NUPに限局型、広汎型という分類はありません。

急性/慢性壊死性潰瘍性歯肉炎/歯周炎

教科書的には

急性：歯周組織の破壊が急速で疼痛など患者不快感が強い。

慢性：組織破壊の速度は緩徐で疼痛などの患者不快感はそれほど強くない。

破壊速度に関する定義は定まっていない。

急性・慢性の定義は以上の通りですが、臨床的には壊死性潰瘍性歯肉炎は急性しか存在しないことからANUGと呼ばれる（Clinical Periodontology 第12版）。壊死性潰瘍性歯周炎は一般的に急性症状を示すが慢性的に経過する場合もある（Clinical Periodontology and Implant Dentistry 第6版）。

2015年版の治療指針には混乱を生じさせる記述がありましたので、今後の改訂の際には新たな分類も考慮し、記述を改めたいと考えております。